

【新規格付け】 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

第16回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券： A A
 第17回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券： A A

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

整備新幹線などの鉄道建設業務、国内海運業者に対する船舶共有建造業務などを行う独立行政法人。中核都市間を結ぶ大量・高速の交通機関で、国民経済にとって不可欠な社会的インフラストラクチャーである整備新幹線の建設、保有を一手に担うなど、鉄道や国内海運といった運輸行政の執行機関として政策上の重要性は高い。整備新幹線の建設資金は主として JR からの貸付料、既設新幹線の譲渡収入、国・自治体からの補助金・負担金という返済の必要のない資金で賄われている。一方、鉄道建設業務のうち、一部の第3セクター鉄道会社向け債権は回収が当初計画通りに進んでおらず、回収条件の緩和に応じているが、こうした問題についても国などと一体になって解決に取り組んでいる。また、船舶共有建造業務では中小海運業者向けに未収金を抱え、同業務を抱える海事勘定は債務超過状態にあるが、機構の回収努力に加え、国からの出資等もあり、同勘定の2006年度末の債務超過額は209億円(2005年度末は342億円)に縮小している。

政府は2007年12月に「独立行政法人整理合理化計画」を閣議決定したが、機構の事業や組織について大きな変更はない。

【格付け対象】

発行者：鉄道建設・運輸施設整備支援機構

名称	第16回、第17回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
発行額	第16回=285億円、第17回=100億円
発行日	ともに2008年2月18日
償還日	第16回=2012年3月19日、第17回=2017年12月20日
表面利率	第16回=1.00%、第17回=1.64%
格付け	AA（新規）
受託会社	みずほコーポレート銀行
担保	一般担保付
備考	会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構法に基づく受託会社が置かれる

☆発行体格付け： AA [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることもある。